

平成29年度
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

平成29年度全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

(1)調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2)調査の対象学年

- 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
(平成29年4月18日に調査を実施した学校・児童生徒数 大阪府995校 71,298人)
- 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年
(同 大阪府470校 71,889人)

(3)調査の内容

- ①教科に関する調査
 - ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]
 - ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
- ②質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

(4)調査の方式 悉皆調査

(5)調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

○実施校数

- ・小学校:2校
- ・中学校:1校

○実施児童生徒数

- ・小学校:160 人
- ・中学校:147 人

公表に関する配慮事項について

平成29年度全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

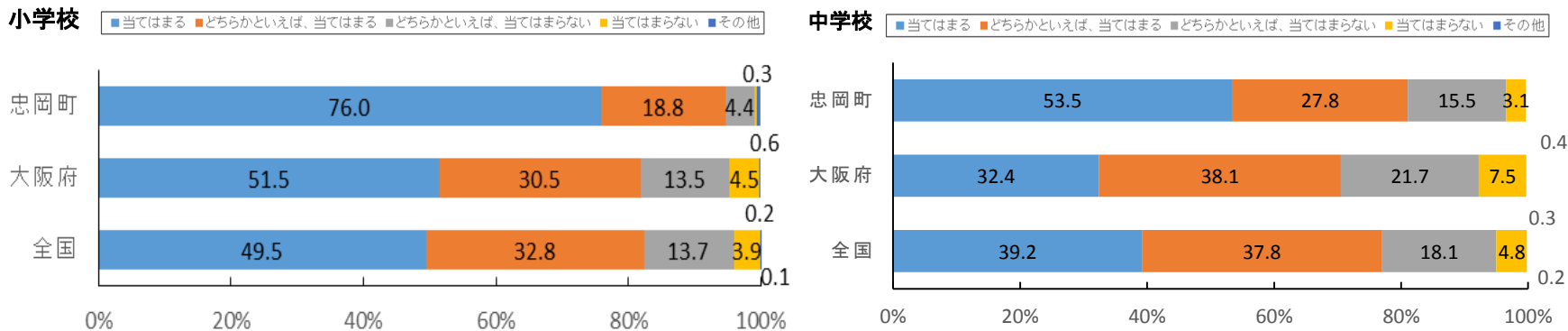
全体の概要について I（学力に関する調査より）

- 【小学校国語】自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることや、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題。
- 【小学校算数】示された考えを解釈し、示された数値を規準とした場合の求め方を、言葉や式を用いて記述することに課題。
- 【中学校国語】表現の仕方について捉え自分の考えを書くことや、相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことに課題。
- 【中学校数学】与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することに課題。

全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H29年度の重点取り組みにかかる概要～

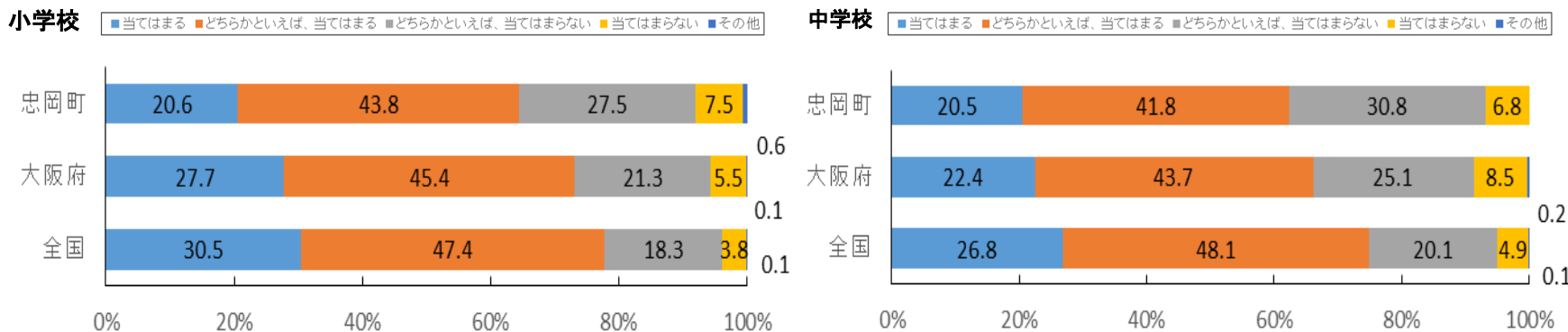
①【授業の中でめあてと振り返りを示す】「授業の中で目標が示されていたか。授業の最後に振り返りの活動を行っていたか」

肯定的評価「あてはまる」・「どちらかといえば、あてはまる」は小学校では、全体の約9割5分、中学校では約8割であり、全国・大阪府の割合よりも高評価である。



②【自ら考え取り組む子を育てる】「先生からの課題や、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

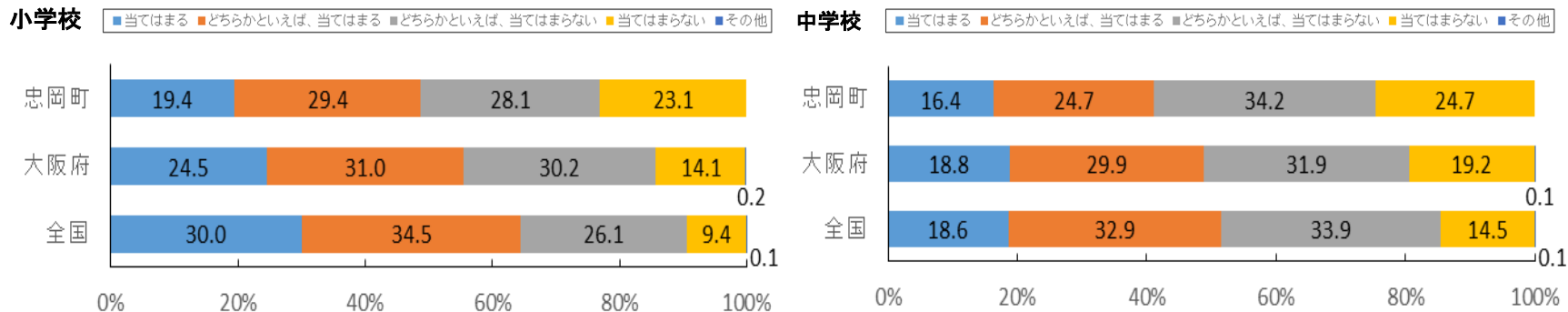
否定的評価「あてはまらない」・「どちらかといえば、あてはまらない」と答えた児童生徒は全体の約4割弱おり、全国・大阪府に比べ割合が高く、授業改善に取り組む上での課題である。



全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H29年度の重点取り組みにかかる概要～

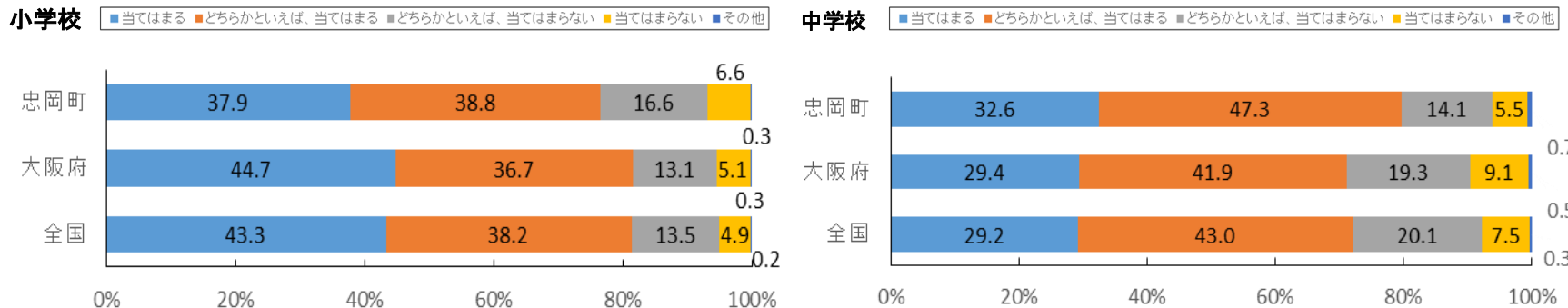
③【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

否定的評価「あてはまらない」・「どちらかといえばあてはまらない」と答えた児童生徒が全体の5割以上おり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題となっている。



④【授業内容がわかる子どもをふやす】「国語・算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか」・・・国語と算数(数学)の合算データ

肯定的評価「あてはまる」・「どちらかといえばあてはまる」は小学校では、全体の約7割5分、中学校では約8割であり、中学校は大阪府の割合よりも高評価である。

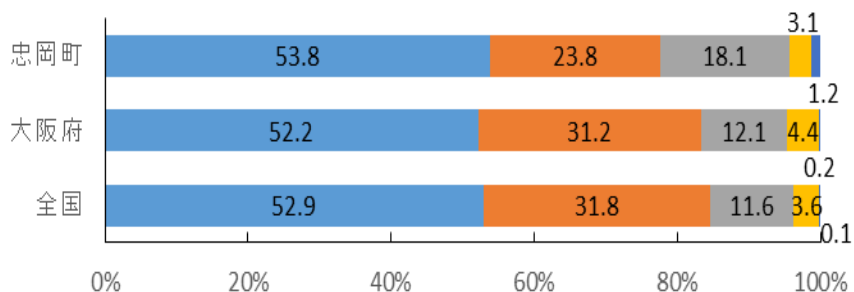


全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H29年度の重点取り組みにかかる概要～

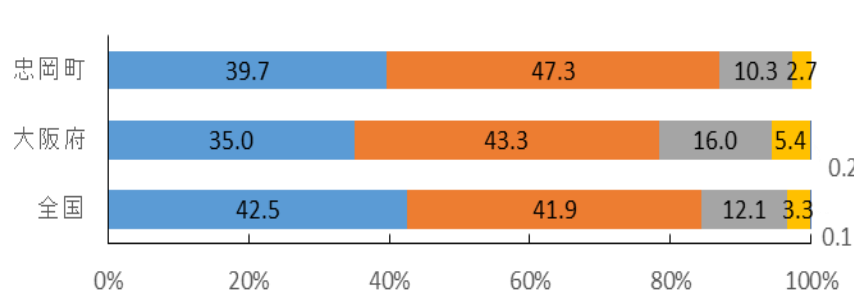
⑤【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」

肯定的評価「あてはまる」は小学校では、全体の約5割4分、中学校では約4割であり、大阪府の割合よりも高評価である。

小学校



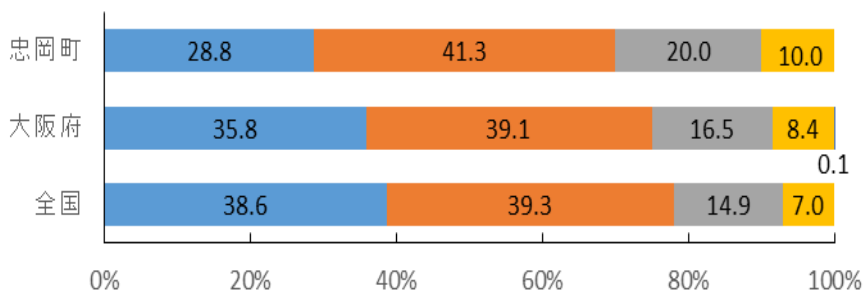
中学校



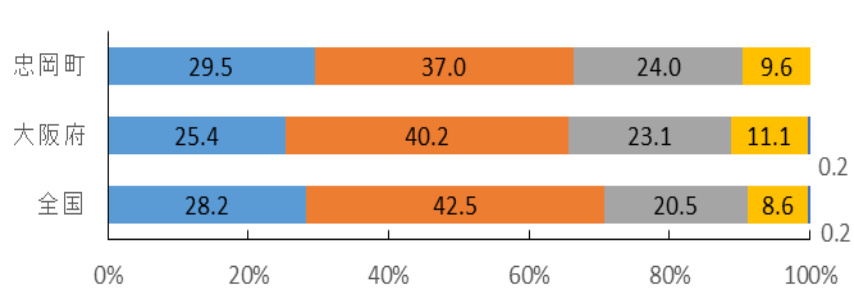
⑥【自分には良いところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には良いところがあると思いますか」

否定的評価「あてはまらない」・「どちらかというにあてはまらない」と答えた児童生徒が全体の約3割おり、自尊感情を高めていくことが課題である。

小学校



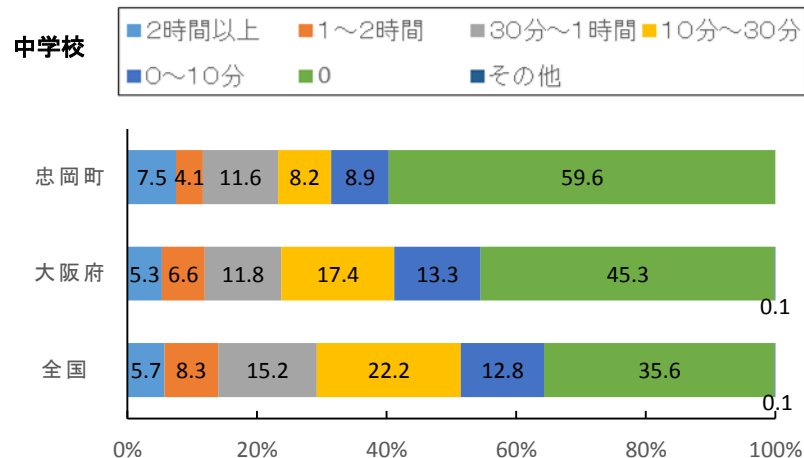
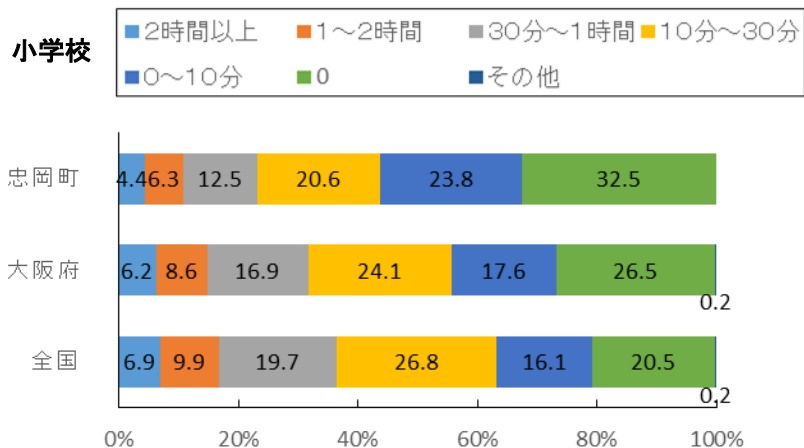
中学校



全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H29年度の重点取り組みにかかる概要～

⑦【読書に親しむ子どもたちを育てる】「家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」

「0」「0～10分」をあわせた割合が小学校では約5割6分、中学校では約6割8分あり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題となっている。



忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業(全小・中学校)・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業(小1・2)・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 学力向上サポーター配置事業(小3・4)・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業(全小学校)・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRTⅡ(小4)・・・児童の基礎・基本における学習のつまづきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉(小5・中2)・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善プロジェクトチーム会議・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・小・中学校教員の英語指導力を高めるために、研修等を実施しています。

忠岡町立忠岡小学校

小学校 国語 漢字を読んだり書いたりする。

考えられる課題

●漢字が定着していない。

正答率は、全国平均に比べて低い。

正答率

- (1) 23.6%
- (2) 67.3%
- (3) 92.7%
- (4) 80.0%
- (5) 58.2%
- (6) 92.7%

これからの指導の方向性

☆習った漢字を、色々な場面で意識的に使用させていくことにより、定着をはかる。

☆朝学習や漢字検定などを活用して、漢字に対する学習意欲を向上させていく。

課題が見られる設問

- A七
- 部の漢字の読みをひらがなで、……部のひらがなを漢字で、それぞれでいねいに書きましよう。
- (1) 参加たいしよう
 - (2) きぼう者
 - (3) 期限
 - (4) 事務室
 - (5) おいてあります
 - (6) 指示

小学校 国語 メモを使うことよさについて、どのように考えているかについて書く

考えられる課題

●話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉えることに課題がある。

●無解答率が高いことから、課題に正対できていない児童が多い。

正答率 54.5%
(大阪府 67.2%)
(全国 69.2%)
無解答率 7.3%

正答率は、大阪府平均に比べて、10ポイント以上低い。

これからの指導の方向性

☆国語科にとどまらず、社会や総合的な学習の時間などと連携し、教科を横断したカリキュラムを作成するとともに、このような場面を想定できる学習活動を行う。

☆○字以内で内容をまとめる場面を設定し、内容を簡潔にまとめる技能を高める。

課題が見られる設問

B 1 2
石田さんたちは、グループの話し合いの中で、スピーチメモを使うことについて、どのようなよさがあると考えていますか。「グループの話し合いの様子」の言葉を使って、四十字以内で書きましよう。

小学校 算数 円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかをかく。

課題が見られる設問

A6 点Oを中心とする円を使って、図1のような正五角形をかきます。(中略)

まず、図2のように半径をかき、円周と交わった点を点Aとします。次に、図3のように半径をかいて点Bの位置をきめます。このとき、角Aの大きさは何度になればよいですか。

正答率

61.8%

無解答率

3.6%

想定された誤答例以外の解答率

12.7%

考えられる課題

●与えられた情報から、必要な情報を選択し、課題を解決する

これからの指導の方向性

無解答率は3.6%と課題はあるが、それ以上に、想定した誤答例(8つ)を上回る誤答を約8人に1人が選んでいることから、この課題に対し必要な情報を選択できていないことが想像できる。

「円の中心のまわりの角の大きさが360度」という基礎的な知識から五角形との関連を関連付けて考えられるよう、指導していく必要がある。

小学校 算数 「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ

課題が見られる設問

B5(1)「最小の満月の直径」を□、「最大の満月の直径」を■として、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

正答率

52.7%

無解答率

5.5%

考えられる課題

●図やグラフから必要な情報を選択し、課題を解決する

もとにする量より少なくなっている量を選んだ解答率

23.6%

これからの指導の方向性

課題に入る前に、本文には月の説明があり、課題を解くヒントになっているが、本校の児童には文章量が増えることにより、かえって混乱を起こしていることがわかる。

「もとにする量」「くらべる量」については例年課題が見られるが、基準量が明確にもかかわらず、1や2を解答する児童が約4分の1もいて、全国平均や府平均と比べても約3倍多いことから、問題文の多い課題に普段から取り組ませる必要性がある。

児童アンケート

課題が見られる設問

質問番号(6)

「自分には、よいところがあると思いますか」

考えられる課題

●自尊心が低いことによる、課題克服への意欲の低下

あてはまらない・どちらか
と言えばあてはまらない
43.6%(府24.9%、国
21.9%)

これからの指導の方向性

○集団づくりにおいて・・・集団解決の場面において、自分の力が発揮できないと感じている児童がこれほど多いと、授業に積極的に参加できていない児童が傍観者となっている可能性が高い。今後は、自分の能力について、どの部分が弱く、どの部分が高いのかを分析し、どのようにすれば今後その力は伸びていくのかを、子どもや保護者を巻き込みながら追求していく必要がある。

忠岡町立東忠岡小学校

小学校 国語 学級文集のタイトルを決める話し合いにおける報告の説明として適切なものを選択する

考えられる課題

●互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うこと。

正答率 56.2%

無解答率 0.0%

正答率が全国平均を10ポイント以上回っている。

これからの指導の方向性

- ☆ グループや学級で役割を決めて話し合い、より一層豊かな相互交流を図る。
- ☆ 一人ひとりの考えを反映させながら、一つの考えに集約することや 意見を述べ合う中で、各自の考えを広げたり深めたりできるようにする。
- ☆ 様々な話し合いの場面において、児童一人ひとりがそれぞれの役割について学ぶことができるように、意図的、計画的に機会を設定する。

課題が見られる設問

A 1 野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う「報告場面の一部」です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。（省略）
（問い）野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。（省略）

小学校 国語 漢字を書く

考えられる課題

- 漢字を正しく書く力

正答率	(1)	25.7%
	(5)	51.4%
無解答率	(1)	23.8%
	(5)	32.4%

- (1) 正答率が全国平均を15ポイント以上下回っており、無解答率も高い。
- (5) 正答率が全国平均を25ポイント近く下回っており、無解答率も高い。

これからの指導の方向性

☆ 学年別漢字配当表に示されている漢字を、各学年において生活で使用する文や文章の中で適切に使うことができるように指導する。

☆ 漢字を正しく読んだり書いたりするとともに語彙を広げるために、辞書を利用する能力や態度を育て、辞書を利用して調べる習慣を付けるよう辞書の利用について学習する第3学年から意図的・計画的に指導する。

課題が見られる設問

- | | | | |
|---------------|-------------|---|-------------|
| (5) 箱がおいてあります | (1) 参加たいしよう | い
に
書
き
ま
し
よ
う
。 | A
7
☑ |
| | | 部のひらがなを漢字で、それぞれでいね | (1) |
| | | | (5) |

小学校 国語 「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する

考えられる課題

●自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がある。

正答率 14.3%
無解答率 5.7%

正答率が全国平均を10ポイント以上下回っている。

これからの指導の方向性

- ☆ 物語を読んで感想を伝え合い、ものの見方や考え方を広げる。
- ☆ 互いの感想を聞き、一人ひとりの感じ方に違いがあることに気づき、それを基に自分の考えを広げたり深めたりする。
- ☆ 自分の経験や考えに結びつけて感想を伝えることや互いに質問をし合って補完し合うような活動を行う。

課題が見られる設問

B 3 大岩さんの学級では、……
(省略)

二 「話し合いの様子の一部」の中の波線部
ア・イの発言は、この話し合いの中で、それぞ
れどのような意図がありますか。最も適切
なものを選び、次の1から4までの中からそれぞ
れ一つ選んで、その番号を書きなさい。
(省略)

小学校 国語 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。

考えられる課題

●物語を読んで考えたことを発表し合い、叙述を基に自分の考えをまとめること。

正答率 19.0%
無解答率 39.0%

正答率が全国平均を20ポイント以上下回っている。

これからの指導の方向性

- ☆ 物語を読んで、ものの見方や考え方を広げる。
- ☆ 物語の複数の場面を関係付けて読み取る。
- ☆ 叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。

課題が見られる設問

B 3 大岩さんの学級では、………
(省略)

三 「話し合いの様子の一部」の中の□Bのところ
で、田中さんは「物語の一部」の言葉や文を取り
上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねで
あると考えたわけを話しています。あなたが田
中さんならどのようなわけを話しますか。次の
条件に合わせて書きましよう。
(省略)

小学校 算数 商を分数で表すことができる

課題が見られる設問

A 2 (4)

5÷9(商を分数で表しましょう。)

考えられる課題

●わり算の商を分数で表すことに課題がある。

正答率 46.7%

無解答率 11.4%

正答率が全国平均を20ポイント以上下回っており、無解答率も高い。

これからの指導の方向性

被除数の大きさを除数で等分した一つ分の大きさと商が一致することを、図や数直線を使って考える場を設定し、図を基に実感的に理解できるようにする。

小学校 算数 実験結果の数理的な処理と解釈・表現(ゴムの力で動く車)

課題が見られる設問

B 3 かずやさんたちは、ゴムの力で動く車を作りました。下の図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図のAの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合と、Iの位置に来るまで輪ゴムをのばした場合に、どれだけ車が進むのかを調べます。

(省略)

(2) 7m20cmをこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

考えられる課題

● 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を、言葉や式を用いて記述することに課題がある。

正答率	12.4%
無解答率	29.5%

正答率が極めて低く、全国平均を10ポイント以上下回っており、無解答率が高い。

これからの指導の方向性

グラフや式、言葉などを関連付けながら説明する活動を設け、結果がおよそどれくらいになるかを見積もったり、能率的に処理するために工夫して計算したりすることができるよう指導する。

小学校 算数 日常生活の事象の数学的な解釈と判断の根拠の説明 (見かけの月の大きさ)

課題が見られる設問

B 5 月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。

(省略)

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最小の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

1 100円玉

2 500円玉

考えられる課題

- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述することに課題がある。

正答率 5.7%

無解答率 15.2%

正答率が極めて低い。

これからの指導の方向性

割合における基準量、比較量、割合を、それぞれの関係を表す図をかいたり、数量の関係を表す図から解釈できる演算に着目して説明する活動を取り入れた指導をする。

課題が見られる設問

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

考えられる課題

- 生活リズムの乱れ。
- 家庭学習が習慣化されていない。

テレビやビデオ・DVD

4時間以上	21.9%
3時間以上4時間未満	15.2%

テレビゲーム

4時間以上	18.1%
3時間以上4時間未満	11.4%

これからの指導の方向性

家庭学習チャレンジ週間の取組み等を通じた、基本的な生活習慣の確立。

家庭学習の習慣化と基本的な生活リズムの定着。

課題が見られる設問

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

考えられる課題

- 生活リズムの乱れ。
- 読書に親しむ機会が不足している。
- 家庭学習が習慣化されていない。

1日当たりの勉強時間

1時間未満	37.1%
全くしない	11.4%

1日当たりの読書時間

10分未満	25.7%
全くしない	35.2%

これからの指導の方向性

家庭学習チャレンジ週間の取組み等を通じた、基本的な生活習慣の確立。
 図書室や図書館の活用についての指導の充実。
 家庭学習の習慣化と基本的な生活リズムの定着。

課題が見られる設問

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

考えられる課題

- 読書に親しむ機会が不足している。
- 家庭学習が習慣化されていない。

図書館へ行く回数

年に数回程度行く	32.4%
ほとんど、または全くいかない	51.4%

これからの指導の方向性

「めざせ100冊！」や読書週間等の取組みを通じた、読書指導の推進と充実。

読み聞かせや図書の紹介等を取り入れた、図書の時間の工夫。

図書室や図書館の活用についての指導の充実。

課題が見られる設問

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

家で、学校の授業の予習をしていますか。

家で、学校の授業の復習をしていますか。

考えられる課題

- 基本的な生活習慣が確立されていない。
- 家庭学習が習慣化されていない。

計画を立てて勉強	
あまりしていない	25.7%
全くしていない	24.8%
授業の予習	
あまりしていない	41.9%
全くしていない	35.2%
授業の復習	
あまりしていない	43.8%
全くしていない	29.5%

これからの指導の方向性

家庭学習チャレンジ週間の取組み等を通した、基本的な生活習慣の確立。

家庭学習の習慣化と基本的な生活リズムの定着。

忠岡町立忠岡中学校

考えられる課題

- ・同じ音が多数あるため、正しく選択することができない。
- ・漢字の持つ意味を理解し、使用していない。

正答率	本校	44.2%
	大阪府	60.9%
	全国	62.8%

全国平均と18.6%も差があり、無解答率も28.6%と高い。

これからの指導の方向性

- 定着しにくい漢字や間違いやすい漢字については、必要に応じて辞書などを活用する。
- 漢字の持つ意味を理解した上で、定着するまで繰り返し書くよう指導していく。
- 同音異義語をまとめ、練習問題に取り組むようにしていく。

課題が見られる設問

- 9
—
次の1から3までの文中の—線部のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。
- 1 組織のキボを大きくする。

中学校 国語B 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。

考えられる課題

条件1の比喻を用いた表現が含まれる一文を抜き出すことができない。

正答率	本校	25.2%
	大阪府	38.6%
	全国	41.4%

全国平均と16.2%も差があり、無解答率も32.7%と高い。

これからの指導の方向性

- 解答の条件を理解し、適切な形で答えられる力をつける。
- 感じたことや考えたことを書く際に、なぜそのように感じたのか、文章のどこからそのように考えたのかなどについて、根拠を明確にして書くように指導していく。
- 表現技法について理解し、表現を見つけることができるようにしていく。

課題が見られる設問

1—3
青山さんは、「本の紹介カード」にある「比喻を用いた表現」に着目して【本の一部】を読み、感じたことや考えたことなどをあとの【読書の記録】に書いています。あなたなら【読書の記録】のへ心に残った一文とへ感想にどのようなことを書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

中学校 数学A

扇形の弧の長さを求めることができる。

課題が見られる設問 (A-4-(3))

半径が5cm、中心角が 120° のおうぎ形の弧の長さを求めなさい。
ただし、円周率は π とします。

正答率	本校	19.7%
	府	31.7%
無解答率	本校	34.0%
	府	19.9%

考えられる課題

・円周は求められるが、円周から扇形の弧の長さを考えることができない。

A問題の中で、正答率が一番低く、無解答率が一番高い。

これからの指導の方向性

- ・扇形を円の一部として捉え、弧の長さが中心角の大きさに比例することを確認する場面を設定する。
- ・なぜ、そのような公式になったのかを扇形の弧の長さを中心角の大きさの関係から考えることによって、自分で導き出せるようにも指導していく。

中学校 数学B

与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる。

課題が見られる設問 (B-2-(2))

図1のようにストローを囲むと、六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数は、次のように説明できます。

ストローを図1のように囲むと、1つの囲みにストローが6本ある。……

このとき、2回数えているストローが

□本あるので、必要なストローの本数は $6n$ 本より□本少ない。

したがって、 $\dots 6n - (\square)$ になる。上の説明の□には、同じ式が当てはまります。□に当てはまる式を、 n を用いて表しなさい。

考えられる課題

・与えられた説明の道筋を読み取り、事象を数学的に表現することができない。

正答率	本校	30.4%
	府	41.0%
無解答率	本校	18.2%
	府	11.4%

正答率が府と10.6%も差があり、無解答率も18.2%と高い。

これからの指導の方向性

- ・文章題を演習し、問題の読解力の向上に努めていく。
- ・数学的な表現が苦手なので、図などを用いてヒントを提示し、事象に即して解釈したり、説明する場面を設定していく。

課題が見られる設問

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

考えられる課題

「全くしない」と回答した生徒が、平日では15.1%であり、休みの日では30.8%もある。家庭学習の習慣をつけていくことが課題だと考えられる。

「3時間以上」と回答した生徒は16.4%で、大阪の平均13.8%の+2.6%、全国の平均10.1%の+6.3%が多いが、「全くしない」と回答した生徒は15.1%で大阪府の平均9.5%の+5.6%、全国平均4.9%の+10.2%と多い。

これからの指導の方向性

「家で、学校の宿題をしていますか」の質問にも8.9%の生徒が「全くしていない」と回答している。わかりやすい授業をすることにより、授業を聞いていればできる宿題を計画的に出し、適切な評価をすることにより、家庭学習の習慣をつけさせる。

課題が見られる設問

1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

考えられる課題

基礎・基本の理解と定着に時間をかけているため、話し合い活動の機会が少ない。

「当てはまる」と回答した生徒は15.8%で、大阪府の平均31.8%、全国の平均38.9%の半数にも満たない。

これからの指導の方向性

現在取り組んでいる「授業の構造化」をより一層進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいく。